

8-2.

接続部の確認

⑦ 接続ホースは取付脚の下側から出ていますか？

➡ 6-2. - 3 水栓本体の固定 参照

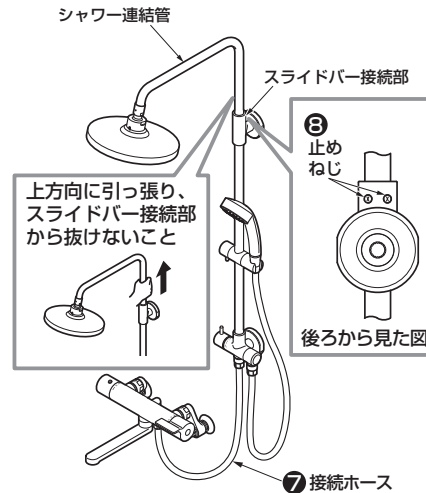
⚠ 注 意



スライドバー接続部に止めねじ(2カ所)が取り付けられていることを確認し、シャワー連結管を上方向に引っ張り、スライドバー接続部から抜けないことを確認する

⑧ 止めねじの取り付け忘れがある場合

➡ 6-6. - 6 シャワー連結管の接続 参照



9. 寒冷地でお使いの場合 (TBW04004型のみ)

TBW04004型 (水栓なしタイプ)

凍結が予想される地域や凍結の可能性のある場所に設置する場合は、寒冷地仕様の水栓とセットでお使いください。(水栓本体はサーモスタット式をご使用ください)

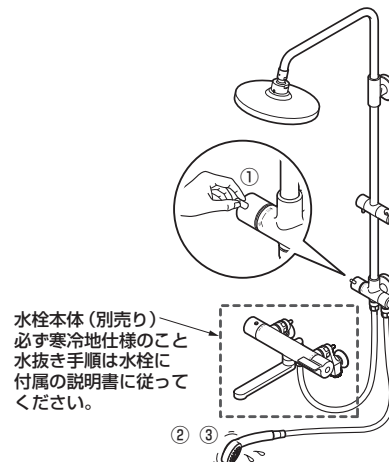
・下記の手順でシャワーバーの水抜きを行うことができます(①～③)

- ① 切替本体のレバーハンドル(オーバーヘッドシャワー/ハンドシャワー)を中間位置で止める。
- ② ハンドシャワーを床近くに下げ、ホース内の水を抜く。
- ③ ハンドシャワーを振って中の水を抜く。

(①～③で、シャワーバーの水抜き作業は完了です)

(④ 水栓本体の水抜きは本体の説明書にしたがってください)

・お客様にも水抜き方法をご説明ください。



TOTO

施工説明書

シャワーバー

TBW04401型
TBW04004型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1.安全上の注意	1～3
2.仕様	3
3.取り付け前に	3
4.部品の確認	4
5.完成図	5
6.施工手順	6～14
7.施工後の調節	15～17
8.点検項目	18～19
9.寒冷地でお使いの場合	19

■ 工事内容に応じて指定のページをご参照ください。

1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

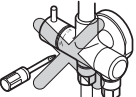
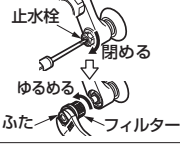
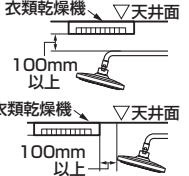
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

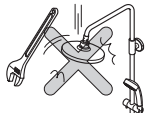
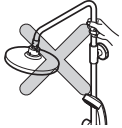
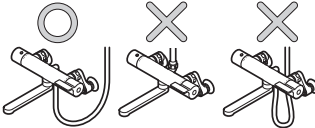
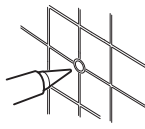
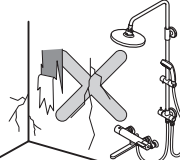
●お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

	○ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	● は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

 警告		
 禁止	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使えない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 必ず実行	目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う 使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。	
	フィルターの掃除をする際は、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認する 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	シャワーバーは衣類乾燥機の温風吹出口および空気吸込口から100mm以上離して取り付ける 消防法第九条に基づく市町村条例基準により、浴室用衣類乾燥機が設置してある場所へのシャワーバー取り付けには、下記のような防災上の規制がある地域がありますので、不明な点は所轄の消防署など行政官庁にあらかじめご相談ください。 〔例〕東京消防庁設置基準 「温風吹出口および空気吸込口の100mm以内に衣類を含め、一切のしゃへい物が無いこと」	

1-2.

 注意																
 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。															
	シャワーバーを手すりとして使用したり、ぶら下がったり、シャワーハンガーに登ったりしない 滑ったり、外れたりしてけがをするおそれがあります。また、故障や水漏れの原因になります。															
 必ず実行	接続ホース（水栓～切替本体）は取付脚の下から取り出す 接続ホース（水栓～切替本体）を上から取り出したり、取付脚の間から取り出すと、ホースが折れたり、ホース接続部の破損につながるおそれがあります。															
	取り付け完了後、シャワーバーにガタツキがないことを確認する シャワーバーにガタツキがあると、シャワーバーが外れたり、壁が壊れたりして、けがをするおそれがあります。															
	取り付ける壁に段差のないことを確認する 商品がガタついたり、接続部から水漏れる原因になります。															
	ねじは必ず指定の本数で固定する 壁が壊れたり、商品が外れてけがをするおそれがあります。															
	取り付け穴の周囲に必ずシーリング材を塗布する シーリング材を塗布しないと、壁裏へ水が浸入し、シャワーバーが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。															
必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける 取り付けの際は必ず取り付け可能な壁であることを確認してください。壁の強度が不足していると、商品が外れたり、壁が壊れたりしてけがをするおそれがあります。システムバス・ユニットバスで壁の材質がわからないときは、システムバス・ユニットバスメーカーにお問い合わせください。																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">浴室壁材</th><th>取り付け可否</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">在来浴室</td><td>木下地</td><td>○</td></tr> <tr> <td>コンクリート下地</td><td>○</td></tr> <tr> <td>ユニットバスおよびシステムバス</td><td>0.4mm以上の鋼板の壁 塩ビ鋼板複合パネル、HQパネル、QCパネルなど</td><td>○</td></tr> <tr> <td></td><td>その他<例>タイル、プラスチック、天然大理石など</td><td>×</td></tr> </tbody> </table>		浴室壁材		取り付け可否	在来浴室	木下地	○	コンクリート下地	○	ユニットバスおよびシステムバス	0.4mm以上の鋼板の壁 塩ビ鋼板複合パネル、HQパネル、QCパネルなど	○		その他<例>タイル、プラスチック、天然大理石など	×	
浴室壁材		取り付け可否														
在来浴室	木下地	○														
	コンクリート下地	○														
ユニットバスおよびシステムバス	0.4mm以上の鋼板の壁 塩ビ鋼板複合パネル、HQパネル、QCパネルなど	○														
	その他<例>タイル、プラスチック、天然大理石など	×														

1-3.

●TBW04401型の場合

警告		
禁止	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	給湯側 給水側
必ず実行	目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う 使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。	HOT
	フィルターの掃除をする際は、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う また、本体左側および湯側取付脚が熱くないことを確認する 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	止水栓 閉める ゆるめる ふた フィルター

2. 仕様

給水・給湯圧力	使用必要水圧	0.12MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度	サーモ本体部	85℃以下
	シャワー部	60℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1～40℃
用途		一般住宅浴室用

3. 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。
- やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。快適な吐水温度を確保するために50～60℃設定をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- シャワーバーを取り付ける壁に十分な強度があることを確認してください。
(施工手順 64～65を参照してください)
- 固定方法は建物の構造に応じて適切な方法を選んでください。

<シャワーバー後付タイプ (TBW04004型) の場合>

- 組み合わせる水栓本体はサーモスタート式を使用してください。
- 組み合わせる水栓本体が他社製の場合、別売りの接続用アダプターを準備してください。(4参照)

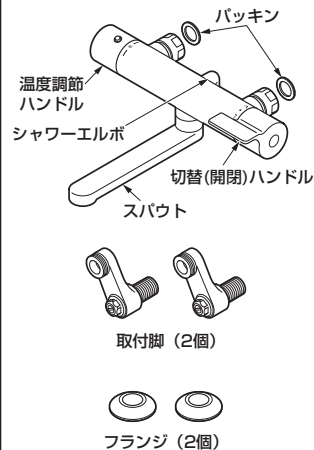
4. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

共 通			その他
オーバーヘッドシャワー部	ハンドシャワー・ホース部	シャワーハンガー	必ずお客様にお渡しください 取扱説明書 六角棒レンチ (対辺1.5mm) 使いかたラベル 3枚 (水栓なしの場合は2枚)
シャワー連結管 シャワーヘッド Oリング 樹脂リング	バックシン ハンドシャワー フィルター L=1600mm シャワーホース	シャワーハンガー (1個) 壁面固定板 (1個) バックシン (1個) 止めねじ (2本) $\phi 4.5 \times 30$ 樹脂プラグ (2本)	
切替本体部	接続ホース (水栓～切替本体)	固定金具・ビス他	施工説明書 位置決めシート
切替本体 (オーバーヘッド/ハンドシャワー)	バックシン ホース止めリング ナット	固定金具 (2個) バックシン (1個) ホース継手 (1個) 座金付きタッピンねじ (長) (16本) $\phi 4.5 \times 45$ 座金付きタッピンねじ (短) (16本) $\phi 4.5 \times 20$	
スライドバー			
止めねじ 樹脂リング スライドバー シャワーハンガー			

TBW04401型の場合

水栓本体部



別売り (オプション品を準備しております。必要に応じて準備ください)

- TBW04004型 (水栓なしタイプ) を他社などの水栓に取り付ける場合、下記接続用のアダプターをご利用ください。

メーカー	品 番	形 状
TOTO (TBV034型、TBW044型、TBY014型以外)	THY145336	
KVK	THY145335	

- さし湯などで高温の湯をお使いになる場合、ハイカット弁 (下記) をご用意しています。

名 称	品 番	形 状
ハイカット弁	THD10-2	

シャワー吐水時に高温の湯 (約50℃以上) を出そうとすると瞬時に流量を絞ります。小さなお子様やお年寄りがいるご家庭におすすめです。

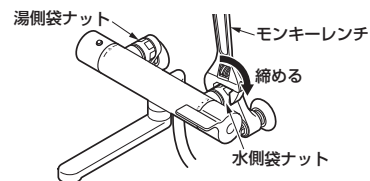
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

6-2.

3 水栓本体の固定

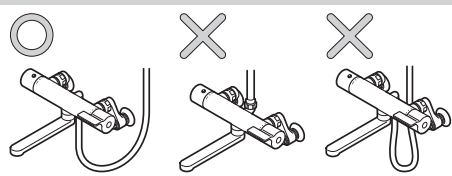
(水栓なしタイプ)の場合、水栓本体に付属の説明書に従い、正しく取り付けてください。
(組み合わせの水栓はサーモスタット式をご使用ください。)

- ①水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ②水平になるように調節しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。



注意

- ゆるみがないようにしっかり締めてください。
袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- 取付脚は回さないでください。
配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- (壁付きタイプの場合) 接続ホース (水栓～切替本体) を取付脚の下から取り出してください。
接続ホース (水栓～切替本体) を上から取り出したり、取付脚の間から取り出すとホースが折れたり、ホース接続部の破損につながるおそれがあります。



4-1 シャワーバーの位置決め

お客様とご相談のうえ、取付位置を決めてください。

取付位置の確認、および周囲の器具 (鏡や照明など) との取り合いと使い勝手確認のため、「位置決めシート」も同梱しております。
本説明書とあわせてご確認ください、位置決め・取付作業にお役立てください。

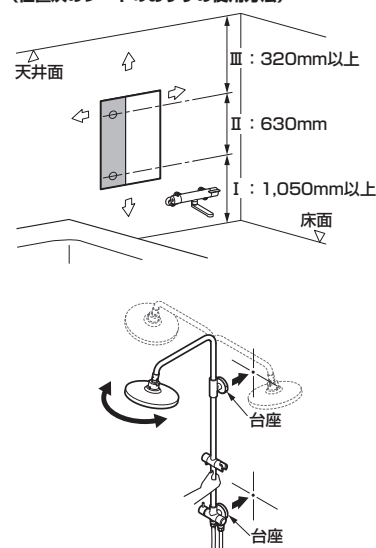
- 浴室内の壁に位置決めシートをあて、シャワーバーの寸法を確認しながら、取り付ける壁を決める。(「位置決めシート」のグレーの範囲には、壁パネルのジョイント部*1がかからないこと、また、周囲の器具[照明・鏡など]にかからないよう位置を決める)
[*1: ユニバス・システムバスの場合]

- 取り付け位置が決まったら、右図のように、
I: 床から1,050mm以上*2
II: Iから 630mmの位置をけがく
(ただしIII: 320mm以上確保すること)
(*2: 天井高さに余裕があれば、III: 320mm以上となるよう、お客様のお好みで高さを上げて良い)

- シャワーバー (切替本体・スライドバー・オーバーヘッドシャワー部) を仮組みし [本説明書 6.6-6 参照]、上記でけがいた位置に台座をあわせ、オーバーヘッドシャワーの可動範囲と使い勝手を確認する。

- 以上の作業で取付位置が決まったら、本説明書 6.4-5 に従い、下穴をあける。

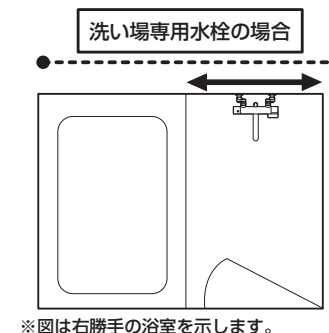
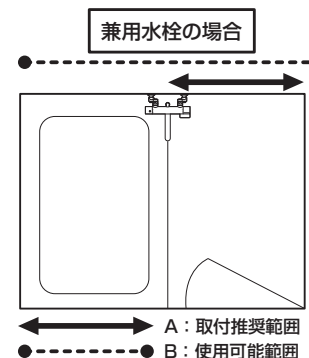
(位置決めシートのおすすめ使用方法)



6-3.

4-2 シャワーバーの位置決め (つづき)

- ①下図AまたはBの範囲でシャワーバーの取付位置を決める。



※図は右手の浴室を示します。

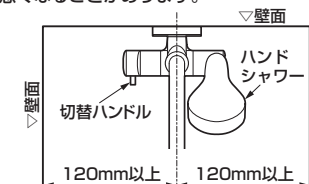
- シャワーバーは、水栓本体近くに取り付けてください。水栓本体から離れすぎると、使い勝手が悪くなったり、ホースにつまずいたりするおそれがありますので、事前にご確認ください。
- オーバーヘッドシャワーは左右に回して (首振り) お好みの位置でお使いいただけますが、周囲の照明や壁などにぶつけないようご注意ください。

- ②下記のスペースを確保してください。

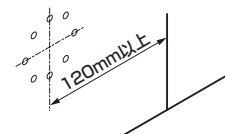
- 天井面から30mm以上確保してください。
天井面との間で指を挟むおそれがあります。
- シャワーバー中心から周囲463mm以上確保してください。シャワーバー可動時に破損するおそれがあります。



- 取付芯の位置は浴室コーナー部から120mm以上離してください。切替ハンドルやハンドシャワーの使い勝手が悪くなることがあります。

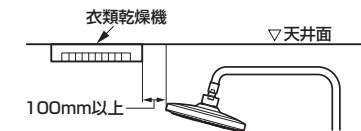
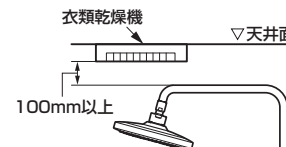


ユニバス・システムバスの場合、壁パネルのつなぎ目からも120mm以上離してください。



【浴室用衣類乾燥機をご使用の場合】

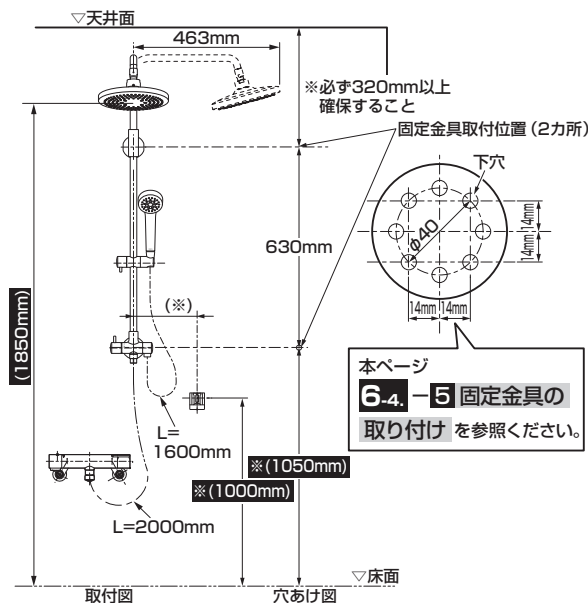
- シャワーバーは衣類乾燥機の温風吹出口および空気吸込口から100mm以上離して取り付けてください。
→詳しくは、1-1. 安全上の注意 を参照してください。



6-4.

4-3 シャワーバーの位置決め(つづき)

③取付位置を決め、穴あけ位置を決める。
右図の範囲でお好みの高さに設定してください。



※()は参考寸法です。
使用者の身長、天井高さなどを考慮の
うえ、取り付けてください。

5-1 固定金具の取り付け

固定金具の取付方法は取り付ける壁によって異なります。下記に従って取り付けてください。

注意

- 正しいサイズのドリルをお使いください。
下穴径が大きすぎると、芯振れを起こして正しい固定ができないことがあります。
また下穴径が小さすぎると、タイル割れをおこすおそれがあります。
- 各壁材に応じて、適切な材質のドリルを使用してください。
- 穴あけ後は、下穴にシーリング材を必ず充填してください。
- 下表に従い、壁材に応じた正しい長さのねじを同梱部品よりお選びください。
- 新築に取り付ける場合は、壁裏に30mm以上の厚みのある補強材を柱または間柱に固定して、その補強材に取り付けてください。

<浴室壁材ごとの下穴径と必要数>

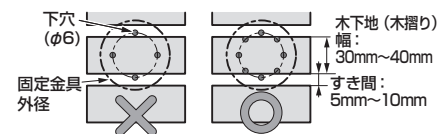
		下穴径 (mm)	深さ (mm)	穴数 ※1	使用ねじ他(同梱) 樹脂 プラグ	使用ねじ
在来 工法 浴室	木下地	φ6	20 (タイル・ モルタル のみ)	4~8 ※2	要	座金付き タッピン ねじ φ4.5×45 (長)
	コンクリート下地		50	4		
システム バス ユニット バス	鋼板壁厚さ 0.4mm以上	φ3.5	— (貫通穴)	8	不要	座金付き タッピン ねじ φ4.5×20 (短)

※1：固定金具1個あたり

(※2) 1カ所あたり下穴数(木下地の場合)

※2：木下地に4本以上ねじがかかるよう、現場にて調整ください。(下記)

木下地の場合は、**下地に座金付きタッピンねじが4本以上かかるように**ねじ本数を調整してください。



※鋼板壁以外のユニットバス・システムバス(タイル・プラスチック・大理石など)には取り付けできません。

6-5.

5-2 固定金具の取り付け(つづき)

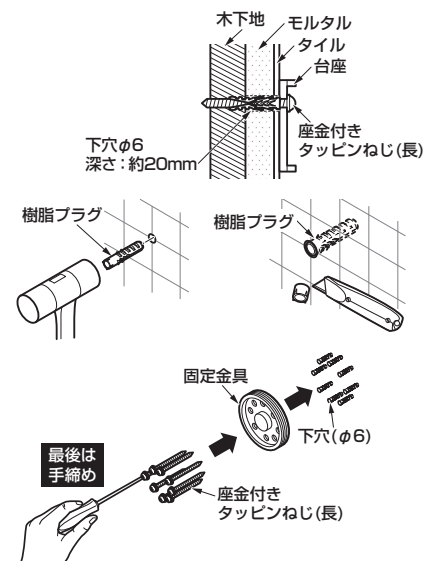
<在来工法浴室の場合>

木下地の場合

- ①φ6mm・深さ20mmの下穴をあける。
(上下とも4~8個)
前ページの表に従い、上下とも木下地にねじが4本以上かかるよう、ねじ本数を調整してください。
タイル・モルタル部のみ下穴をあけ、木下地の手前で止めてください。(深さ20mmが目安です)
- ②①であけた下穴に樹脂プラグを軽く打ち込む。
壁からはみ出した樹脂プラグは切り取ってください。

- ③シーリング材を充填したあと、固定金具を図のように取り付ける。(上下2カ所)

タイルの割れを防ぐため、最後の締め付けは手締めで行い、ねじが固定金具に接して半回転以上締め込まないこと。
※タイルが割れたりするとガタついたり、外れたりして使用される方がけがをするおそれがあります。

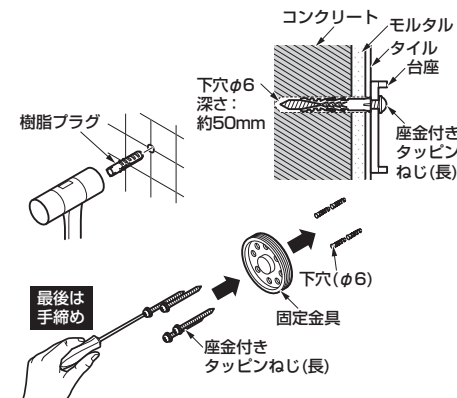


コンクリート下地の場合

- ①φ6mm・深さ50mmの下穴をあける。(上下とも4個)
- ②①であけた下穴に樹脂プラグを軽く打ち込む。

- ③シーリング材を充填したあと、固定金具を図のように取り付ける。(上下2カ所)

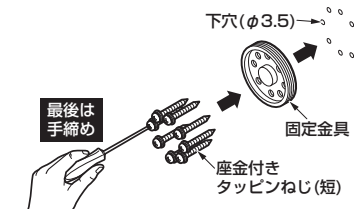
タイルの割れを防ぐため、最後の締め付けは手締めで行い、ねじが固定金具に接して半回転以上締め込まないこと。
※タイルが割れたりするとガタついたり、外れたりして使用される方がけがをするおそれがあります。



<ユニットバス・システムバス(鋼板壁)の場合>

- ①φ3.5mmの下穴をあける。(上下とも8個)
- ②シーリング材を充填したあと、固定金具を図のように取り付ける。

ねじを空転させないよう、最後の締め付けは手締めで行い、ねじが固定金具に接して半回転以上締め込まないこと。
※ねじを空転させるとガタついたり、外れたりして使用される方がけがをするおそれがあります。



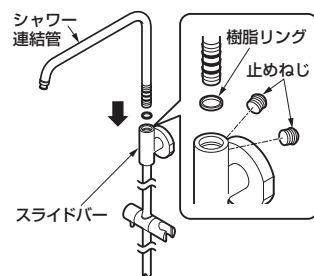
6-6.

6 シャワー連結管の接続

スライドバー接続部に同梱の樹脂リングを入れ、オーバーヘッドシャワーの連結管を差し込み、同梱の止めねじ(2個)を後ろから確実に取り付け。

注意

- 必ず樹脂リングが入っていることを確認してください。
- 止めねじ(2個)を確実に取り付けてください。シャワー連結管が外れて落下するおそれがあります。



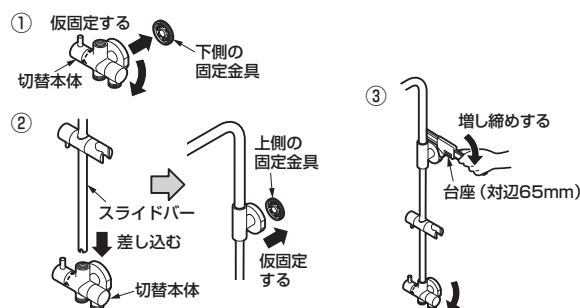
7 切替本体・スライドバーの取り付け

5で壁に取り付けた固定金具(下)にスライドバー・切替本体を固定する。

①切替本体の台座を下側の固定金具に仮固定する。

②①切替本体の上部取付口にスライドバーの下端を差し込み、台座部を固定金具(上)に仮固定する。

③上下の台座を増し締めし固定する。ゆるみがないよう、工具でしっかりと固定してください。



8 オーバーヘッドシャワーの取り付け

①オーバーヘッドシャワーをシャワー連結管の先に差し込み、スパナで十分に締め込む。

注意

バックシン・フィルターが入っていることを確認してください。

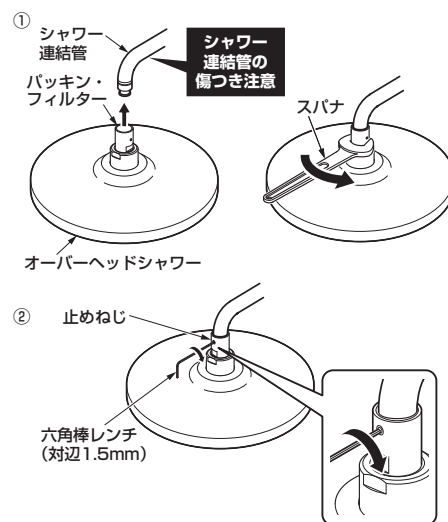
②止めねじ部のテープをはがし、止めねじを付属の六角棒レンチ(対辺1.5mm)で締め付ける。

注意

止めねじは落下防止用の部材です。確実に締め付けてください。

取り付け後の確認

オーバーヘッドシャワーの取り付け後、オーバーヘッドシャワー部を回しても締め付け部がゆるまないことを確認してください。



6-7.

9-1 接続ホースの取り付け(水栓本体～切替本体)

- ①接続ホースを切替本体の左側ねじ部にねじ込む。
- ②水栓本体のシャワーエルボにホース継手をねじ込む。
- ③浴室のレイアウトにあわせ、接続ホースを適当な長さに切る。
- ④接続ホースにナットとホース止めリングを差し込み、図4のように取り付ける。(ホース止めリングの向きにご注意ください)

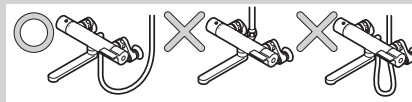
注意

●バックシンが入っていることを確認してください。

●(壁付きタイプの場合)

接続ホース(水栓～切替本体)を取付脚の下から取り出してください。

接続ホース(水栓～切替本体)を上から取り出たり、取付脚の間から取り出すとホースが折れたり、ホース接続部の破損につながるおそれがあります。

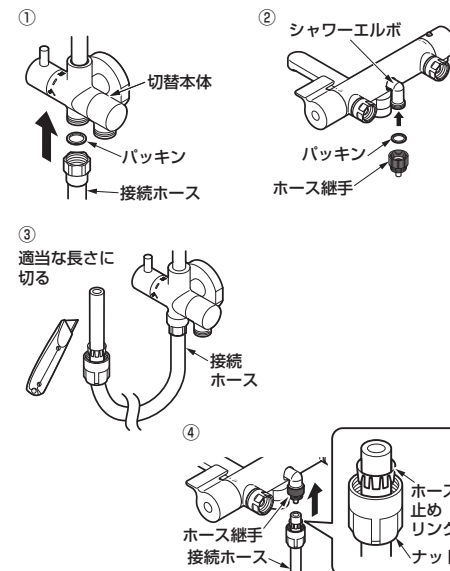


●接続ホースをカットする際は斜めにならないよう、直角にカットしてください。

斜めにカットした場合、十分に差し込めず接続部より水漏れするおそれがあります。

●ホース継手、ナットは手締めでしっかり締めてください。

ホース継手、ナットが確実に締め付けられていないと、水漏れするおそれがあります。

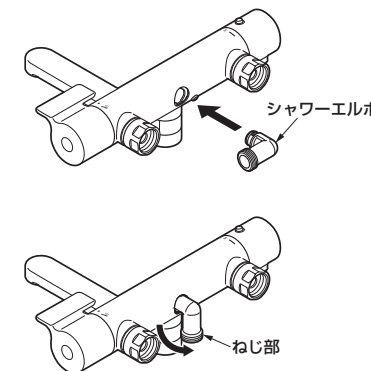


シャワーエルボが外れた場合

下記手順でシャワーエルボを取り付けてください。

①シャワーエルボを水栓本体に対して90°回転させた位置で差し込む。

②シャワーエルボのねじ部が下にくるよう90°回転させる。



9-2 接続ホースの取り付け(水栓本体～切替本体)(つづき)

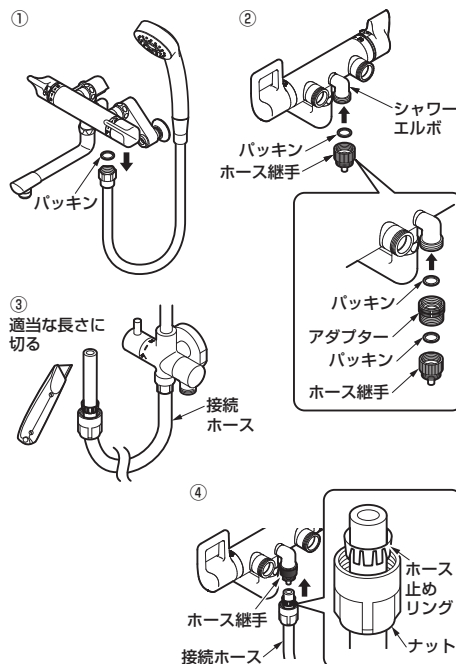
TBW04004型(水栓なしタイプ)の場合

- ①現在お使いの水栓本体からシャワーホースを取り外す。
- ②水栓本体のシャワーエルボにホース継手をねじ込む。
※他社などの水栓にもお取り付けいただけるよう、アダプター(別売品)を準備しています。
水栓メーカーをお確かめのうえ、別途ご準備ください。

メーカー	品番
TOTO (TBV034型、TBW044型、 TBY014型以外)	THY145336
KVK	THY145335

- ③浴室のレイアウトにあわせ、接続ホースを適当な長さに切る。

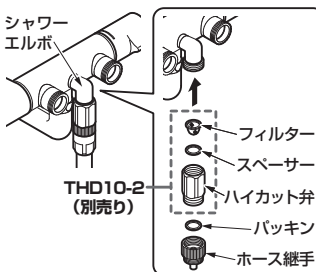
- ④接続ホースにナットとホース止めリングを差し込み、図④のように取り付ける。
(ホース止めリングの向きにご注意ください)



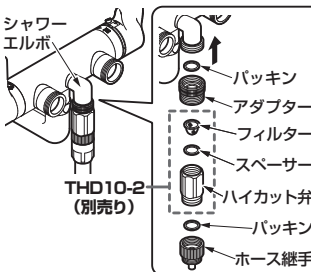
ハイカット弁(THD10-2)を取り付ける場合

ハイカット弁を取り付ける場合は、右図の要領にてお取り付けください。
※前ページに記載のアダプター(別売品)を使うと他社などの水栓にもハイカット弁がお取り付けいただけます。水栓メーカーをお確かめのうえ、別途ご準備ください。

TOTO水栓金具(TBV034型、TBW044型、TBY014型)に取り付ける場合



他社および、TOTO(左記以外)の水栓金具に取り付ける場合



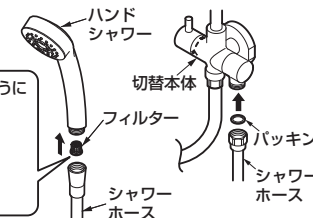
10 ハンドシャワー・シャワーホースの取り付け

シャワーホースを切替本体に取り付ける。
ハンドシャワーをシャワーホースに取り付ける。

注意

パッキン・フィルターが入っていることを確認してください。

※フィルターの向きを間違えないように注意して取り付けてください。



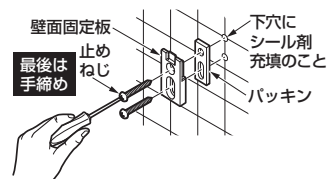
11 シャワーハンガーの取り付け

他社ハンガーでは十分に固定できない場合がありますので、同梱のシャワーハンガーへのお取り替えをおすすめします。

●壁面固定板の取り付け

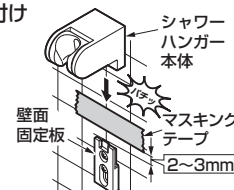
- ①取り替える方のシャワーハンガーを取り外す。
- ②下穴に、シール材を充填する。
●在来工法浴室の場合：下穴径φ6
※樹脂プラグを入れ替えて、シール材を充填する。
●ユニットバス・システムバスの場合：下穴径φ3.5
- ③パッキンを壁面固定板の裏面に貼る。
- ④同梱の止めねじにて壁面固定板を固定する。

ねじの空転防止およびタイルの割れを防ぐため、止めねじの最後の締め付けは手締めで行い、ねじが壁面固定板に接して半回転以上締め込まないこと。
※ねじを空転させたり、タイルが割れたりするとガタついたり、外れたりして使用される方がけがをするおそれがあります。



●シャワーハンガー本体の取り付け

- ①壁面固定板上端から2～3mm上にマスキングテープを貼る。
- ②シャワーハンガー本体を上から壁面固定板にあわせて、「パチッ」と音がるまで押し込む。



注意

壁面固定板上端から2～3mm上にマスキングテープを貼ったあとにシャワーハンガー本体を押し込んでください。
壁に傷を付けるおそれがあります。

- ③シャワーヘッドを確実にセットして、角度調節範囲を動かし、ガタツキがないか確認する。

※シャワーヘッドの角度によっては、水を止めたときに水垂れする場合があります。その場合は角度を調節してください。

※シャワーの吐水量を調節してご使用ください。シャワー吐水量が多すぎると、シャワーの勢いで角度が変わったり、ハンドシャワーが外れたりすることがあります。



7-1. 施工後の調節

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、以下の要領で確認・調整を行ってください。

水栓なしタイプの場合は、水栓本体の説明書とあわせてご確認のうえ、同様の確認・調整を行ってください。
(本体の調整方法・操作する箇所はメーカー・機種により異なります)

※なお、他社水栓の調整・修理はTOTOではお受けできませんので、メーカーをご確認のうえ、各水栓メーカーへお問い合わせください。

1. 水出し確認



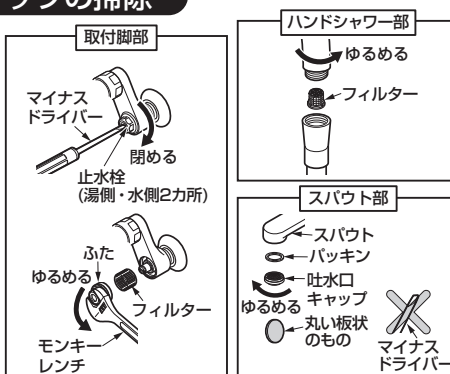
2. フィルターおよび吐水口キャップの掃除

取り付け後は必ずフィルターおよび吐水口キャップを掃除してください。

フィルターや吐水口キャップが詰まると流量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、フィルターを外してください。また、本体左側および湯側給水脚部が熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)

※吐水口キャップを取り外すときは、マイナスドライバーなど先の細いものは使用しないでください。



3. 流量の調節

切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で止水栓を調節してください。

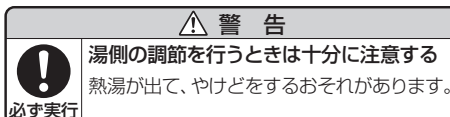
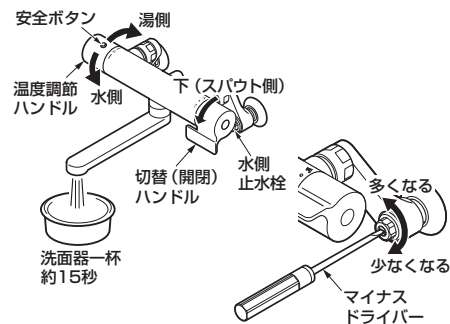
① 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいにし、切替(開閉)ハンドルを下いっぱいに戻す。

スパウトから水が出ます。

② 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに約15秒弱)になるように水側止水栓を調節する。

時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

③ 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱいに戻し、②と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



7-2.

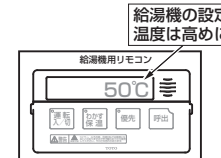
4. 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する

温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。

快適な吐水温度を確保するために50～60℃設定をおすすめします。



① 温度調節ハンドルの安全ボタンを本体の目盛り"40"にあわせる。

② 切替本体のレバーハンドルを正面(ハンドシャワー側)に切り替える。

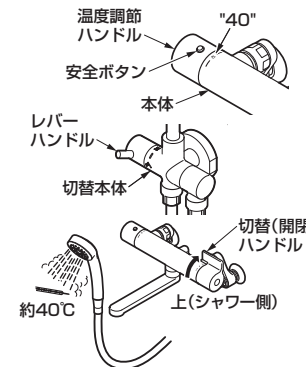
③ 切替(開閉)ハンドルを上いっぱいに戻す。

ハンドシャワーから水が出ます。

④ 吐水温度を確認する。

吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。

温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。



5. 温度調節ハンドルの設定

吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。

当社のウェブサイトから、下記内容をご確認いただけます。

※通信料がかかります。
※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

情報を見る

温度調節ハンドルの設定

<http://su.toto.com/adaoz>



水栓ありタイプのみ

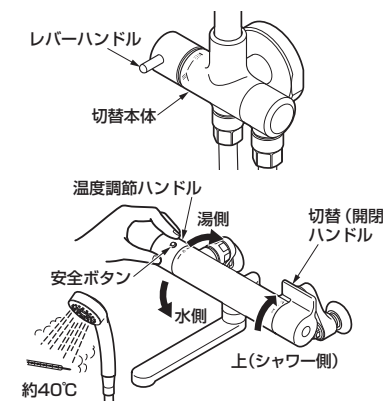
① 切替本体のレバーハンドルを正面(ハンドシャワー側)に切り替える。

② 切替(開閉)ハンドルを上いっぱいに戻す。

シャワーから水が出ます。

③ 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40℃)の湯が出る位置まで回す。

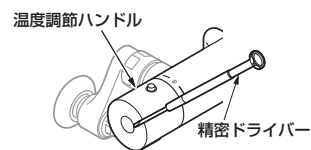
温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



5. 温度調節ハンドルの設定 (つづき)

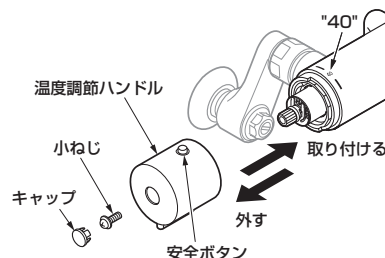
④ 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。



⑤ 温度調節ハンドルを取り付ける。

安全ボタンと目盛り"40"をあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。



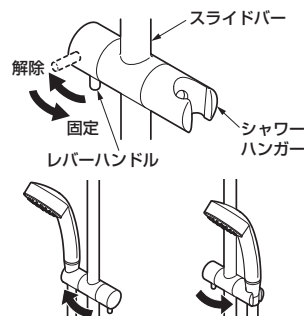
⑥ 固定後に適温 (約40℃) の湯が出ているか確認する。

6. シャワーハンガーの高さ・向きの調整

レバーハンドルを上に戻すと固定が解除されます。シャワーハンガーを上下に移動し、レバーハンドルを下に戻すとシャワーハンガーがスライドバーに固定されます。

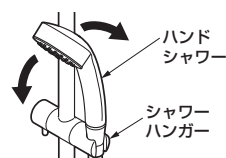
レバーを解除すると、重さによってシャワーハンガーが急に落下することがありますので、手を添えながらレバーを解除してください。

シャワーハンガーは左右どちらの向きでもご使用いただけます。



7. シャワーハンガーの角度調節

ハンドシャワーを差したまま、シャワーハンガーを好みの角度に回転させ、シャワーの散水角度を調節してください。



※角度によっては、ハンドルを閉めても、水が止まるまで時間がかかることがあります。

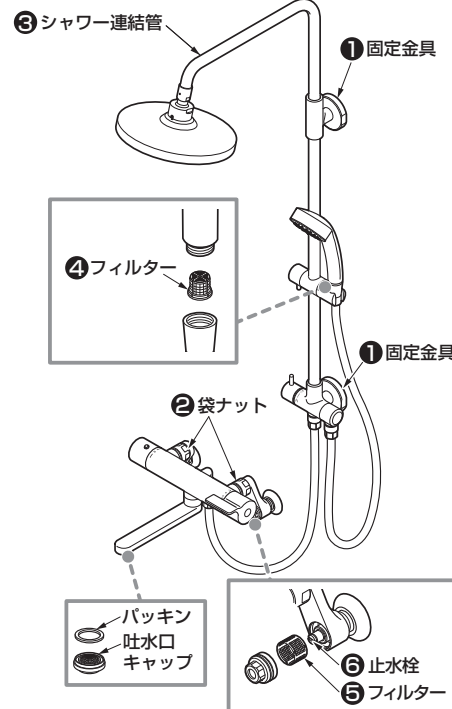
※ハンドシャワーの角度によっては、水を止めたときに水垂れる場合があります。その場合は角度を調節してください。

※ハンドシャワーの流量を調節してご使用ください。ハンドシャワーの流量が多すぎると、シャワーの勢いで角度が変わったり、ハンドシャワーが外れたりすることがあります。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水栓なしタイプ (TBW04004型) の場合は、水栓本体の説明書とあわせてご確認のうえ、同様の確認・調整を行ってください。(本体の調整方法・操作する箇所はメーカー・機種により異なります)

※なお、他社水栓の調整・修理はTOTOメンテナンスではお受けできませんので、メーカーをご確認のうえ、各水栓メーカーへお問い合わせください。

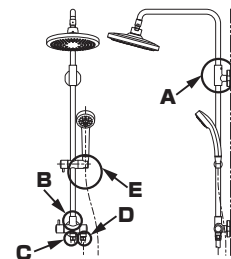


水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

A・B・C・D・Eに水漏れがある場合

Oリングまたはパッキンが入っているか確認後、再度、取り付けてください。



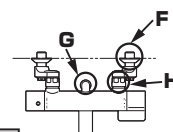
TBW04401型の場合

Fに水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどがないことを確認のうえ、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。

G・Hに水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、取り付けてください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① 固定金具のガタツキはないですか?

↳ 6.4. ⑤ 固定金具の取り付け 参照

↳ 6.6. ⑦ 切替本体・スライドバーの取り付け 参照

TBW04401型の場合

② 袋ナットのゆるみはないですか?

↳ 6.2. ③ 水栓本体の固定 参照

③ シャワー連結管のガタツキはないですか?

↳ 6.6. ⑥ シャワー連結管の接続 参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

④ フィルターのごみ詰まりはないですか?

↳ 7.1. ② フィルターおよび吐水口キャップの掃除 参照

TBW04401型の場合

⑤ フィルターのごみ詰まりはないですか?

↳ 7.1. ② フィルターおよび吐水口キャップの掃除 参照

⑥ 止水栓は開いていますか?

↳ 7.1. ③ 流量の調節 参照